

まちなかボランティア養成講座始動！

2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向け、千葉市のおもてなし度向上を目的として、来街者に対して観光施設への道案内や催し物のガイドができるボランティアを育成するための事業「まちなかボランティア養成講座」がスタートしました。

この講座は、千葉市に在住・在勤であれば誰でも参加することができ、3時間の講義1回と4時間程度の実習を2回受講していただければ修了となります。7月29日に第1回目の講義が開催され、千葉におけるインバウンドの予測や人とのコミュニケーションの方法について11名の受講者が学びました。同じ内容で、今年度中にあと3回実施され、次の講義の9月9日には、現在のところ29名が参加する予定です。

主にイベント会場で実施する実習の第1回目は、8月19日の「千葉の親子三代夏祭り前夜祭」が開催されている中央公園を会場としました。午後1時からオリエンテーションとして実習内容やイベント情報の説明を受けた後、受講者は実習現場での情報収集と確認作業をして実習に臨みました。外国人キャスト2名が観光客という想定で受講者に様々な質問してもらい、その返答をキャストが理解できればサインをするという形式での実習を繰り返しました。今回の受講者は、8回の質問を全てクリアし、この実習をパスしました。



次回の実習は、9月17日の「アロハフェスティバル in CHIBA2017」(中央公園)で、実習は年度内に合計6回予定しています。



市民活動ステップアップ講座 第1弾 開催報告

市民活動の“本当の基礎”

～誤解をなくしてメリットを活かそう！～

8月5日(土)、センター長の原田正隆を講師に、標記の講座を開催しました。

タイトルの“本当の基礎”とは、本当に知ってほしい事という意味です。「1. 市民活動・NPOって何?」「2. 誤解しやすい点・されやすい点」「3. 本当のメリットを知る・活かす」「4. NPOと“お金”」の4つの項目で構成。解っているようで、あやふやだったところを明確にしてくれる講座でした。

参加者からも、「誤解しやすい点がピックアップされていて良かった。」「メリットとかお金はザックバランの説明で役立ちそうです。」「自分の所属している団体の課題にしたい。」「NPO法人の基礎の部分が理解できた。」等、評価は上々でした。

本当に大切なことは、「〇〇をやってもよい」「〇〇を利用できる」ということ。メリットを活かせば、市民活動団体は今よりもっと活動を広げることができると、参加者の方も実感できたのではないのでしょうか。マニュアルには載っていないことをわかりやすく聞けた、貴重な2時間になりました。

次回の「市民活動ステップアップ講座」は、10月14日(土)18:00から、「インターネットの活用で団体を強くする!～外部への情報発信と内部での情報共有～」をテーマに開催します(詳細はP4に掲載)。お聞き逃しごさいませんように。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.21

「二度手間」と「手間をかけること」の違い

暑さのせいか、最近ちょっと「自分は抜けているなあ…」と思う出来事が続いています。新しく口座を開設しようと思って銀行に行ったのに印鑑を忘れたり、印鑑証明書が必要なのに登記事項証明書をとってきてしまったりと、いわゆる二度手間を何度も生じさせてしまっているのです。時間を無駄にしたことにイライラしましたが、これは自業自得なのでどうしようもありません。

また、自分が原因ではありませんが、とある機関へ住所変更の届けに行った際、「手続きは完了しました」と言われたのに、後日、必要な書類をもらい忘れたという連絡があり、再度窓口足を運んだこともありました。このときは職員さんの対応がよかったことや、窓口が自宅の近くだったこともあり、さほどイライラしませんでした(笑)。

さて、NPO法人の設立申請等をしたことがある方の中には、もしかすると手続きが一度で済まず、窓口で複数回足を運んだ経験のある方がいるかもしれません。これはいろいろなケースがあると思いますが、「市民に時間を返すこと」が千葉市の行政改革の大きな方針でもありますし、設立申請等に関する相談があった際に、私は「できるだけ二度手間にならないように」という視点からの助言をさせ

ていただくようにしています。

ですが、「二度手間」と「手間をかけること」を混同してしまっていたことに、最近気づかされました。例えば事業内容について、具体的な計画はなくてもやりたいと考えている事業は、初めから定款に入れておいた方が良く、といった助言をこれまでにはしていました。これは、後に定款変更をする(事業内容を追加する)には総会の開催が必要で、手続きに手間がかかる、という考えからです。しかし、定款に掲げた事業を実際には行っていないとなると、その法人の信頼性が問われます。他にも理由はありますが、定款変更をすることは「二度手間」でも時間の無駄でもない、と言えるでしょう。

市民活動に携わる方のほとんどは、日頃の活動に真剣に取り組んでおられます。他に仕事をしていたり多忙な方が多いことは重々承知していますが、より多くの人の理解や共感を得ることが欠かせない市民活動だからこそ、「手間をかけて」組織運営をすることが大切なのだろうと考えます。もちろん、無駄を省くことも必要なので、「必要な手間」と「不必要な無駄」とを、我々職員はきちんと意識しながら支援の仕事にあたりたいと思います。(は)